

マリ共和国訪問報告：水と衛生改善事業視察

<http://www.mundef.net>
TEL/FAX: 03-5414-7778
info@mundef.net



訪問の目的

Child AFRICAは、2009年4月に西アフリカ・マリ共和国を訪問。

Volvic「1ℓ for 10ℓ」プログラムの支援でユニセフが実施する、水と衛生の事業を視察し、水に関わる問題について、また清潔で安全な水を手に入れられることが子どもたちの生活にどう影響するのかを考え、発信することを目的に訪れました。

西アフリカ・マリ。

乾燥した厳しい気候の中、清

潔で安全な水が子どもたちの

生活に与える影響とは。

マリ共和国(Republic of Mali)とは：

西アフリカに位置する内陸国。

政情は比較的安定していますが生活状況は厳しく、国連開発計画（UNDP）が算定する、その国の人の生活状況や発展具合を見る人間開発指数（HDI）によると、マリは179カ国中168位（2008年）。HDIの達成が最も低い国の一つです（日本は8位）。

また、清潔で安全な水を得ることができる人の割合は全国平均で60%、農村ではその割合は48%に過ぎません。このために、水を媒介とする下痢や寄生虫性疾患などが蔓延し、5歳未満の子どもの死亡原因の18%が下痢性の病気とされています（UNICEF、2006年）。



目次：

- マリ共和国訪問：訪問の目的 1
- 訪問の学び 2
- 広報活動と募金活動の展開 3
- メディア掲載 4



Volvic 1ℓ for 10ℓ プログラム

「1ℓ for 10ℓ」プログラムは、Volvicが実施する、アフリカに清潔で安全な水を確保することを目的にした社会貢献活動。ボルヴィックの売上の一部をユニセフに寄付、その寄付金をもとにユニセフがアフリカに井戸を新設、10年間のメンテナンスを行います。

詳しくはこちらから→<http://www.volvic.co.jp/csr/1for10/>



清潔で安全な水を得られる環境と、そうした水を使用することの重要性を伝える衛生教育。

その二つが同時に実践されることで、子どもたちが自分の力で健康を維持する力を身につけることができます。



ユニセフとVolvic 1ℓ for 10ℓプログラムの支援で設置が進められている手押しポンプ付の井戸



ユニセフ支援校にて。授業を受ける子どもたち

訪問の学び

全9日間の行程で、これまでにユニセフの支援を受けて手押しポンプ付の井戸を設置した村や小学校、そして今後ユニセフの支援を受ける予定の村や小学校を訪問。また特に小学校では、子どもたちへの衛生教育の現状なども併せて視察しました。

マリでは、清潔で安全な水を得ることができる人の割合は全国平均で60%、農村ではその割合は48%に過ぎません。そのため、水を媒介とする下痢や寄生虫性疾患などが蔓延し、実に5歳未満の子どもの死亡原因の15%が、下痢性の病気とされています（UNICEF、2006年）。

実際現地で話を聞いても、多くの子どもたちが下痢や寄生虫病に苦しんでいました。訪問先の農村の村長は、手押しポンプの井戸が使えなくなってから、村人が下痢にかかる頻度が増え、他にも、結膜炎などの眼病や消化器関係の病気、皮膚疾患などが増えていると教えてくれました。

そうした現地の状況から、Child AFRICAスタッフは教育と衛生の深い関係を実感。すなわち、教育があるからこそ衛生的な水を使うことの重要性を理解でき、それが健康を守ることにつながること。そして、清潔で安全な水の使用によって健康が保てるからこそ、子どもたちが元気に学校に通うことができ、就学率の低下を防ぐことができるということ。

手押しポンプ付の井戸の設置など、清潔で安全な水を得るための環境作りと、衛生教育を同時に進めていく重要性を改めて実感しました。

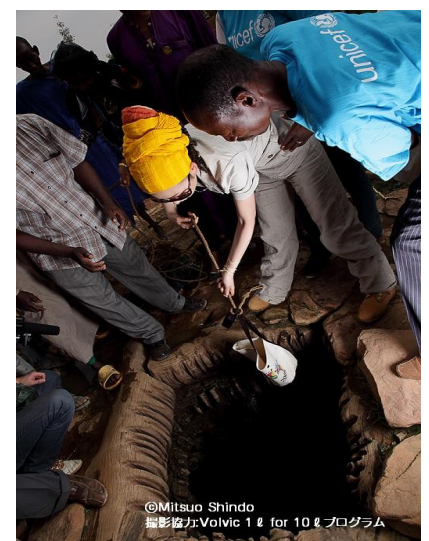
現地で実感したこうした学びを、視察後のメディア露出やイベント開催を通じ、日本の皆さんに発信しました。

マリ訪問の詳しいレポートはmudéfウェブサイトからご覧いただけます。

→<http://www.mudéf.net>



現地の人の声に耳を傾けて初めて分かることも多い



昔ながらの手掘りの井戸。子どもが足を滑らせてしまい落ちることもある



広報活動と募金活動の展開

■ 広報イベント開催

(協力：JAL、JALホテルズ、Volvic 10for 100プログラム)

2009年7月18日～8月31日の期間中、JALホテルズ様のご協力で、ホテル日航大阪、ホテル日航福岡、ホテル日航東京の3ホテルにてアフリカの水問題の現状を伝えるイベントおよび募金活動を実施しました。

Art for Africa!

Volvic 10 for 100 プログラムの協力で集められた、マリの子どもたちが「水のある生活」をテーマに描いた絵のパネルを展示しました。子どもたちの暮らしが清潔で安全な水を通じどのように変わるのかを、来場者の皆さんに向けて発信しました。

Cook for Africa!

ホテル日航大阪、ホテル日航福岡では、Art for Africaの開催に合わせ、対象レストランにてアフリカ料理が提供されました。幅広い世代の方にご来場いただき、アフリカの文化や、現地の子どもたちの生活を感じていただくきっかけとなりました。

■ 募金活動

イベント期間中、全会場にて募金箱を設置。募金活動を実施しました。3会場で合計276,270円の募金を集めることができました。

ホテル日航大阪
7月18日(土)～8月31日(月)
計33,377円
ホテル日航福岡
7月29日(水)～8月9日(日)
計238,551円
ホテル日航東京
8月14日(金)～8月31日(月)
計4,342円

皆様からいただいた募金は2009年10月15日付で、財団法人日本ユニセフ協会に寄付させていただきました。

寄付された募金は、ユニセフが実施する、マリ共和国の子どもたちのための水と衛生事業に役立てられます。

募金活動にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

マリの子どもたちが描いた「水のある生活」の絵を展示。清潔で安全な水を得ることが子どもたちの生活をどのように変えるのかを、来場者に向けて発信しました。



Art for Africa!実施の様子@ホテル日航福岡



募金活動の様子@ホテル日航福岡



メディア掲載

マリ訪問およびイベントの開催の様子は、以下のメディアで紹介されました。

【マリ訪問】

テレビ朝日「スーパーモーニング」（2009年5月6日放映）

モノ・マガジン 「3年目の活動～MISIAが見たマリでの支援～」（2009年7月2日発行）

Tarzan 「MISIAが現地で見えてきた、マリの水、教育のこと。」（2009年7月22日発行）

JAL国際線機内エンタテイメント番組「MISIA IN MALI」放映（2009年12月～2010年1月）

【Art for & Cook for Africa】

読売新聞北九州版（2009年7月18日付）

毎日新聞北九州版（2009年7月28日付）

月刊ホテル旅館（2009年7月22日発行）

日刊航空（2009年7月17日付）

J-WAVE 「Kiss&Hug」（2009年8月15日放送）